

産業振興

Industry Promotion

人を育み、人が輝く活力あふれるまちづくり

●産業の振興

農業の振興／米・野菜作りをはじめとして、県下有数の乳牛の飼育、養豚、養鶏など石井町の農業は、米、野菜、酪農などの複合形態をとっています。また県立農業研究所や県立農業大学校などと協力し、バイオテクノロジー、ハイテク施設園芸などの研究成果を取り入れて、石井町の農業にいかしながら変貌、発展していきます。工業の振興／行政が主導となり優良企業を積極的に誘致して雇用の場を増やしたり、商工会や、企業と連携をとって地場産業の育成を図るなど工業の発展にも力を注ぎ、若者が地元で働くことができる場所の確保に努めるほか、異業種間の交流を推し進めることに

よって、さらなる産業の発展の可能性を模索していきます。
商業・観光の振興／地福寺の藤、野鳥の森、弘法大師ゆかりの童学寺、藍屋敷の田中家住宅など、石井町及び周辺部には数多くの歴史遺産が存在し、観光資源には事欠きません。それらを有効にアピールし、観光客の誘致に努めています。また、隣接する地域や他県に流出する消費の流れを食い止めるために、店舗の個性化、専用化、サービス強化などさらに魅力ある商業地をつくり、消費者の確保に努めます。



① 商店の進出が進む県道30号線
② 高川原工業地域
③ 農産物品評会
④ 乳牛・和牛共進会



① ミニタウン集会
② 住民課窓口
③ 河野町長（右）、清重教育長（左）
④ 16名で構成される石井町議会
⑤ 役場庁舎

行財政

Administration

●行財政の確立・議会

住民参加／行政計画への住民参加というものはたいへん重要なものです。石井町では行政と住民が一体となって共通の問題意識を持てるよう、住民が行政計画に参加できる環境づくりに努めています。そのためにも住民に開かれたまちづくりをめざし、個人のプライバシーに配慮しつつ、情報の公開、提供できる環境を整備していきます。

行財政運営／市町村が地方分権への対応や少子・高齢化の進展、厳しい財政状況などといった大きな課題を抱える中、将来の行財政の状況を推計した上で、地域の実情に合ったまちづくりを進めていくべきだと考えます。石井町では、できるだけ財源を確保し、その限ら

れた財源の中で、住民にとって真に必要なサービスを提供し、合理的で効率のよい町政運営に努めます。

議会／町議会は、町民の代表である議員16人で構成されており、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれる定例会のほか、必要に応じて臨時会も開かれます。また、専門的な立場から調査や審査を行うために3つの常任委員会が設置されているほか、議会運営を効果的に行うための議会運営委員会、特定の事柄について調査や審査を行う特別委員会が設置されています。

